

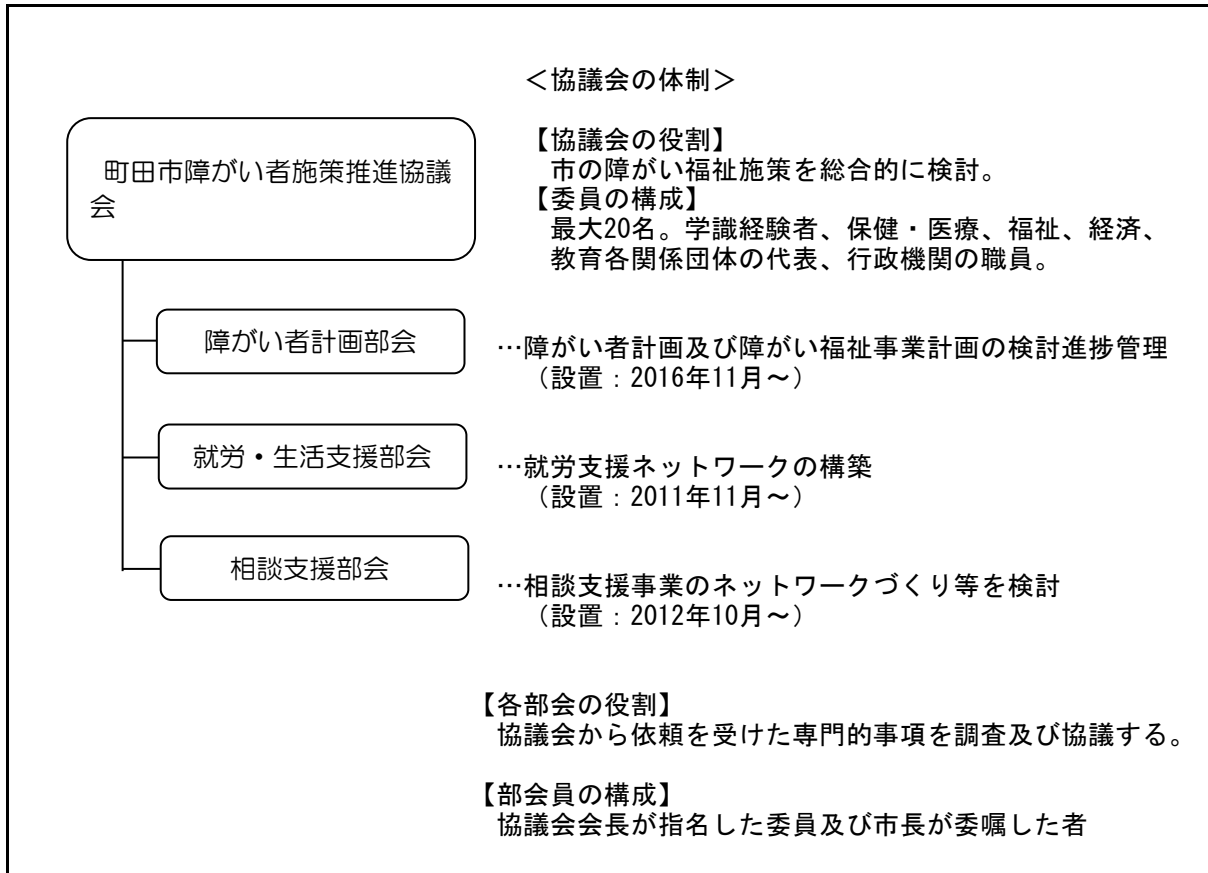
町田市

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 町田市障がい者施策推進協議会

(2) ホームページURL https://www.city.machida.tokyo.jp/irvo/svougai_hukushi/svougaitorikumi/svougaihukusikvougikai.html

(3) 組織図



2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	石渡 和実	学校法人 東和英和女学院	学識経験者	
2	職務代理者	井上 光晴	元名社会福祉士事務所	学識経験者	
3		佐藤 繭美	学校法人 法政大学	学識経験者	
4		谷内 孝行	学校法人 桜美林大学	学識経験者	
5		中川 種栄	町田市医師会	医療関係者	
6		松崎 重憲	町田市歯科医師会	医療関係者	
7		小野 浩	まちされん	障害福祉サービス等事業者	
8		藤井 雅巳	町田市社会福祉法人施設等連絡会	障害福祉サービス等事業者	
9		叶内 昌志	社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	社会福祉協議会	
10		刑部 輝	堺地域障がい者支援センター	相談支援事業者	
11		藤本 英理子	町田市障がい者就労生活支援センター「りんく」	雇用関係機関	
12		堤 愛子	特定非営利活動法人 町田ヒューマンネットワーク	相談支援事業者	
13		風間 博明	町田市身体障害者福祉協会	障害当事者・家族・関係団体	
14		吉本 茂人	町田市聴覚障害者協会	障害当事者・家族・関係団体	
15		土田 由紀子	町田市障がい児者「親の会」連絡会	障害当事者・家族・関係団体	
16		飯長 喜一郎	特定非営利活動法人 町田市精神障害者さるびあ会	障害当事者・家族・関係団体	
17		荻野 淳子	町田市民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員	
18		陶山 慎治	町田商工会議所	企業	
19		萩原 秀朗	東京都立町田の丘学園	教育関係機関	
20		佐々木 暢	町田公共職業安定所	雇用関係機関	

(2) 委員構成

種 別	全体会・ 部会名	全体会	障がい者 計画部会	就労・生活 支援部会	相談支援 部会
学識経験者		4	0	2	1
医療関係者		2	0	0	0
保健所		0	0	0	0
教育関係機関		1	1	1	0
雇用関係機関		2	0	5	0
企業		1	0	2	0
障害当事者・家族・関係団体		4	7	0	0
身体・知的障害者相談員		0	0	0	0
相談支援事業者		2	0	0	4
障害福祉サービス等事業者		2	2	0	2
社会福祉協議会		1	1	0	1
法曹関係者		0	1	0	0
民生委員・児童委員		1	0	0	0
地域住民		0	0	0	0
行政職員(区市町村)		0	0	0	0
行政職員(都)		0	0	0	1
その他		0	0	0	0
計		20	12	10	9

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項(複数回答)

② 就労支援に関すること。

就労に関する実態調査の実施・結果報告及び協議
町田公共職業安定所管内等における求職就職状況、障がい者雇用セミナー等の報告・協議 等

⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること。

障害者差別解消条例の制定に向けた情報収集、当事者等へのアンケート・ヒアリング実施、条例検討体制発足に向けた協議 等

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

緊急時の予防・対応プラン及び地域の体制づくりの検討、障がい者支援センターを中心とした面的整備のイメージ共有 等

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

サービス提供体制や見込量と実績値について、前年度実績の振り返り・協議 等
障がい者計画も含めた重点施策について、前年度実績の振り返りや当年度中間報告等の進捗確認

(2) 地域自立支援協議会としての役割(複数回答)

② 情報共有・情報発信

市の障がい者施策に関する取組みの報告、各委員による意見交換を通して、課題や改善方法を共有し、今後の方針を検討する場としての役割を担っている。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

各部会で検討を行った取組みについて協議会の場で報告を行うことで、他分野の機関の委員からも広く意見を吸い上げている。

⑥ 課題解決に向けての検討

障がい者差別等の課題の解決手段として、差別解消条例の制定に向けた検討を行っている。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

町田市障がい者計画及び町田市障がい福祉事業計画の進捗状況に関する報告と振り返りを行い、今後の方針を検討する場としての役割を担っている。

⑩ 権利擁護・虐待防止

年度ごとの実績、相談内容について、各委員による意見交換を通して課題等を共有している。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

障がい者支援センター相談支援事業所が協働した研修連絡会を開催し、事例検討やグループワークを実施している。今後、地域生活支援拠点の事業所や地域の合議体から上がってきた課題を、協議会に吸い上げていく方法が課題となっている。

② 社会資源の開発及び改善

障がい者支援センターを核とした障がい者支援センターネットワーク会議を実施。そこで吸い上げた意見は相談支援部会に報告し、情報の共有を図る。①と同様に、意見や課題を協議会に吸い上げていく方法が課題となっている。

⑩ 就労支援

就労に関する実態調査（障がい者就労・生活支援センター利用者への就労支援ニーズの調査及び市内企業への障がい者雇用状況調査）を実施し、結果報告と浮き彫りになった課題について議論した。

⑪ 地域移行・地域定着支援

施設入所者の地域移行につなげるため、重度障がいに対応できる支援基盤の充実が求められている。重度の障がい者が利用できるグループホームや日中活動の場の確保について、事例収集や関係団体との協議を行った。

イ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑤ 福祉人材(マンパワー)の確保

障害福祉サービスの報酬の課題が人材不足の一要因となっている。報酬と人員配置の兼ね合いでサービスを充実にせられない等、事業所も苦慮している。

町田市

4 地域移行・地域生活支援を進めるための社会資源

(1) 当事者の声や願いと有効な社会資源

地域移行・地域生活支援を進める際の当事者の声や願い（複数回答）	願いをかなえるために有効な社会資源（複数回答）																	
	地域生活支援拠点等	基幹相談支援センター	相談支援事業所	自立生活援助事業所	就労移行支援事業所	就労定着支援事業所	グループホーム	地域活動支援センター	地域移行支援事業所	地域定着支援事業所	日中活動の場	訪問系サービス	短期入所事業	医療機関	ピアサポート	不動産事業者（※）	有効な社会資源はない。	その他
①入所施設から退所して、地域で暮らしたい。							○				○		○					

地域移行・地域生活支援を進める際の当事者の声や願い（複数回答）	願いをかなえるために有効な社会資源（複数回答）																	
	地域生活支援拠点等	基幹相談支援センター	相談支援事業所	自立生活援助事業所	就労移行支援事業所	就労定着支援事業所	グループホーム	地域活動支援センター	地域移行支援事業所	地域定着支援事業所	日中活動の場	訪問系サービス	短期入所事業	医療機関	ピアサポート	不動産事業者（※）	有効な社会資源はない。	その他
②精神科病院から退院したい。							○				○	○				○		
③困ったときに気軽に相談できるところがほしい。			○					○										○
④情報不足やわかりにくいときに、手助けしてくれるところがほしい。			○															○
⑤地域で生活することに関して、いろいろな選択肢を知りたい。			○															○
⑥地域生活を始めるにあたっての不安を解消してくれたり、自信を取り戻すことに力になってくれたりする人がいてほしい。			○					○							○			
⑦地域移行に向けて「体験の場」がほしい。			○				○					○						
⑧一人暮らしをするための物件探しが難しいので、相談にのってほしい。																○		
⑨地域移行から定着までを通して支援する仕組みがほしい。			○						○	○								○
⑩親亡き後の生活が心配なので、相談にのってもらえるところがほしい。			○															○
⑪訪問診療や介護を利用したい。													○					
⑫災害が起こったらどうすればよいか不安なので、相談にのってほしい。																		
⑬余暇やスポーツ活動を楽しみたい。																		
⑭その他																		
合計	0	0	7	0	0	0	3	2	1	1	2	1	2	1	1	2	0	5

※障害者が一人暮らしできる住居を探してくれる不動産事業者

その他の具体的な内容（有効な社会資源）

町田市障がい者支援センター